B-MANU202092-01

HDL-XVW/2Dシリーズ　取扱説明書

本紙は、本製品（HDL-XVW/2Dシリーズ）とその他のHDL-XVWシリーズの違いについて説明しています。
本製品は、スロット1、2のカートリッジ2台で構成されています。

箱の中を確認する　※別紙【必ずお読みください】の【箱の中を確認する】は読み飛ばしてください。

- ☐ HDL-XVW/2Dシリーズ（1式：本体1台、カートリッジ2台、ダミーカートリッジ2台）
- ☐ 電源ケーブル（1本）
- ☐ LANストレートケーブル（1本）
- ☐ ロック(LOCK)キー（2個）
- ☐ サポートソフトCD-ROM（1枚）
- ☐ バックアップソフト[Active Image ProtectorDesktop Edition CD-ROM（1枚）]
- ☐ インデックスシール（2枚）
- ☐ 管理マニュアル（1冊）
- ☐ 必ずお読みください（1枚）
- ☑ 取扱説明書（1枚）[本紙]

本製品のRAIDモードについて

本製品で設定できるRAIDモード

RAID0	・スロット1、2のカートリッジの全容量を利用できます。 ・アクセス速度が最も速くなります。 ・データの保護機能はありません。
RAID1 (出荷時設定)	・スロット1、2のカートリッジの50%（1台分）を利用できます。 ・スロット1、2のカートリッジに同時にデータを書き込むため、 一方のスロットのカートリッジが故障してもデータは保護されます。

ご注意

■HDL-XVW/2Dシリーズでは、eSATAミラーリングは設定できません。

■スロット3、4のカートリッジを接続していない場合（出荷時状態）

スロット3、4は出荷時設定では、ハードディスクが入っていないカートリッジがセットされています。
内部温度が上昇する場合がありますので、抜いた状態で使用しないでください。

■スロット3、4のカートリッジを接続した場合

正常に装着されるといったん待機中の状態となり、その他のHDL-XVWシリーズ相当のRAIDモードが選択できるようになります。
つづけてRAID設定でスロット3、4のカートリッジを使用するRAIDモードを改めて選択することで、ご利用いただけます。
※これ以降は、カートリッジ4台装着のHDL-XVWシリーズ相当となり、2台のみ装着するHDL-XVW/2Dシリーズとしてのご利用はできなくなります。

■RAID1(2台)で動作時のみRAID1＋スペアー（データ移行）を選択することができます。このモードのみ内蔵ボリュームのデータを保持したままRAIDモード変更（RAID1＋スペアー）ができます。それ以外のRAIDモード変更は、フォーマットを伴います。あらかじめデータをバックアップしてください。

アップグレードについて

本製品にオプションカートリッジを2台接続し、RAIDモードを変更することにより、本製品をHDL-XVWシリーズ相当へアップグレードすることができます。

カートリッジ追加後に選択可能なRAIDモード

- ・RAID5
- ・RAID6
- ・RAID0
- ・RAID5＋スペアー
- ・RAID1＋スペアー

注意

- ●RAIDモードの変更方法については、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。
- ●本製品が「RAID1(2台)」で動作中に「RAID1+スペアー(データ移行)」に変更する場合、内蔵ボリュームに保存したデータを維持したままアップグレードすることができます。「RAID1+スペアー(データ移行)」以外に変更した場合や、本製品が「RAID0(2台)」で動作している場合、内蔵ボリュームに保存したデータは全てフォーマットされ移行することができません。作業の前に必要に応じてデータのバックアップを行ってください。
- ●本製品は、内蔵ボリュームを「RAID0(2台)」または、「RAID1(2台)」以外のRAIDモードに変更した場合、「HDL-XVWシリーズ」として動作するようになり、再び「RAID0(2台)」または、「RAID1(2台)」に戻すことはできません。

※HDL-XVWシリーズへのアップグレード方法は裏面をご覧ください。

オプションカートリッジについて

以下の弊社ホームページを参照し、本製品の容量にあったカートリッジをお買い求めください。
http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/nas_hdd.htm

HDL-XVW/2Dシリーズ本体が、アイ・オー・データ機器が提供する保守サービスＩＳＳに加入されている場合は、以下のＵＲＬに記載の方法で増設したオプションカートリッジの登録が必要です。
http://www.iodata.jp/support/service/iss/2dupgrade.htm

※オプションカートリッジの追加登録をいただかない場合はISS保守では、HDL-XVW/2Dシリーズ本体のみが保守対象になります。忘れずにご登録ください。
※登録できるオプションカートリッジは2台です。

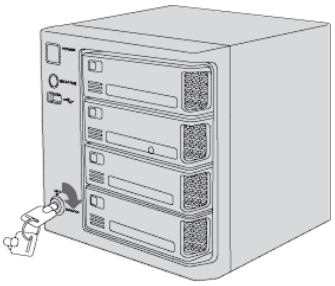
HDL-XVWシリーズへのアップグレード方法

本製品をアップグレードすると、内蔵ボリュームに保存したデータはすべてフォーマットされます。(RAID1からRAID1+スペアーにする場合のみデータは保持されます。)
RAIDモードを変更する前にあらかじめデータをバックアップしてください。

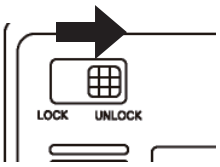
❶ オプションカートリッジを2台準備します。（表面【オプション品について】参照）

❷ 本製品の電源が入っていることを確認します。

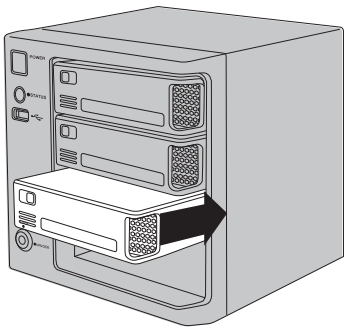
❸ 添付のロックキーを[カートリッジ固定LOCK]に挿し、
時計回りにまわして、[UNLOCK]にします。



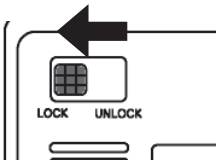
❹ スロット3、4の[スライドスイッチ]を右に移動します。



❺ スロット3、4の空のカートリッジを取り外し、準備したオプションカートリッジを奥まで挿入します。



❻ スロット3、4の[スライドスイッチ]を左側（LOCK）にします。
[ステータス]ランプが点滅します。点灯するまでしばらくお待ちください。
※カートリッジの挿入は1台ずつ行ってください。
1台挿入して[ステータス]ランプが点灯に
変わったらもう1台を挿入します。



❼ 本製品の設定画面を開き、RAIDモードを変更します。
方法については、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。

注意

[STATUS]ランプが赤点滅、[ACCESS]ランプが赤点灯、または赤点滅した場合は、取り付けに失敗しています。
この状態は、システムに取り付け処理を行いましたがシステムで使用できない状態です。

●[ACCESS]ランプが赤点滅している場合
※赤点滅しているカートリッジは使用できません。

原因1　ディスクエラー発生過多
対処　本製品はディスクにエラーが発生した回数を記録しており、エラーが多数発生したディスクはRAIDを構成するディスクとして使用しないようにしています。新しいカートリッジを準備し、交換してください。

原因2　S.M.A.R.T.チェックエラー発生
対処　本製品はディスクを接続されたとき、ディスク自身の故障診断機能（S.M.A.R.T）を利用してディスクが壊れていないか確認します。
S.M.A.R.T情報により故障と判定されるディスクは、使用しないようにしています。新しいカートリッジを準備し、交換してください。

原因3　RAIDに組み込むために必要なディスク容量が足りないカートリッジを接続した。
対処　この場合、システムはRAIDを構成するディスクとして使用できないため、適切なディスク容量を持つカートリッジに交換する必要があります。

RAIDモードの変更が完了したら、アップグレードは完了です。

進化する明日へ Continue thinking
株式会社 アイ・オー・データ機器
ホームページ　http://www.iodata.jp/